

February 23, 2005

この報道資料は 2005 年 2 月 23 日にドイツで配信されたリリースの翻訳です

BASF、アジアでのエンジニアリング・プラスチック事業を強化・拡大

- 上海に新規のコンパウンディング設備を建設
- マレーシアのパジル・グダンでは既存のコンパウンディング工場を拡張
- アジア地域のエンジニアリング・プラスチック市場に年平均 8%の伸びを期待

BASF (本社 ドイツ・ルー・ドヴィヒスハーフェン)は今後 2年間でアジア・パシフィック地域におけるエンジニアリング・プラスチックのコンパウンディング能力を大きく拡張します。

中国・上海の浦東(プートン)で、BASF の既存生産拠点に新規のコンパウンディング工場を建設します。建設工事は今年第 1 四半期中に着手されます。この工場の年産能力は約 45,000 トンで、操業開始は 2006 年末を予定しています。

さらにマレーシアのパジル・グダンでは現在、コンパウンディング設備の能力を拡張中です。これまでの年産能力 30,000 トンから 45,000 トンへの増強工事が完成するのは今年の第 2 四半期中と予定されています。浦東(プートン)での新規プラントを含めて総投資額は数千万ユーロに上るものと見込まれます。これら両プラントとも、ポリアミド樹脂(PA)の Ultramid® (ウルトラミッド)およびPB樹脂(ポリブチレン・テレフタレート)の Ultradur® (ウルトラデュア)のコンパウンドを生産します。

BASF のエンジニアリング・プラスチック部門プレジデントのライマー・ヤーンは「今回のコンパウンディング設備能力の拡張は急速な伸びを示すアジアのエンジニアリング・プラスチック市場において顧客の将来的な需要を満たすための我々の戦略的な決断である」と説明しています。今後 10 年間でアジア・パシフィック地域のエンジニアリング・プラスチック市場は年平均およそ 8%の伸びを続けると予想されています。BASF は 2010年の目標として、グループ全体の化学事業の売上・利益のうち、20%をアジア・パシフィック地域で創出し、またアジアでの現地生産比率を70%にまで高めることを掲げており、エンブラ事業の拡大はこの目標達成に向けてのさらなる一歩前進となります。

上海およびマレーシアの両工場ともに、原料はマレーシアのクアンタンにある BASF と東レの折半出資合弁会社から一部供給される予定です。この合弁会社の設立は 2004 年 2月に発表されており、PBT のベース・レジン年間 60,000 トン生産することになっています。建設工事は順調に進んでおり、本格生産の開始は 2006 年第 1 四半期を見込んでいます。

今回発表の新設・増強によって、アジア地域における BASF のエンジニアリング・プラスチックのコンパウンディング能力は年 100,000 トンを超えることとなります。これにより BASF はアジア現地での最新設備による高品質エンブラ・コンパウンドをアジアの顧客に供給することが可能になり

BASF ジャパン株式会社
コーポレート・コミュニケーションズ
住所：〒102-8570
東京都千代田区紀尾井町 3-3
TEL: 03-3238-2341
FAX: 03-3238-2514
URL: <http://www.basf-japan.co.jp>

ます。BASF では「選ばれるパートナー」となること、そして顧客のさらなる成功を手助けする」ことを目指しています。

エンジニアリング・プラスチックは、主に自動車の生産や電気・電子産業に用いられます。新しい用途の代表的なものとして、車のインテーク・マニホールド、オイルパン、ギア・コントロール部品、センサー、シリンダー・ヘッドカバー、エア・スプリング、冷却装置、さらにルーフ・フレームやレーザー成形可能な高度な電子機器にまで至ります。

コンパウンディング・プロセスでは、顧客の要望に応じたテーラーメイドの製品を製造する為にガラス繊維やミネラル等の添加剤が樹脂に溶融・混合されます。こうして作られる最終製品に、BASF のエンジニアリング・プラスチックである Ultradur[®] (ウルトラデュア)や Ultramid[®] (ウルトラミッド)があります。

上海の浦東(プードン)での新規投資は同地が BASF のプラスチック生産基地としてさらに強化されることを意味します。既に BASF は浦東(プードン)でポリウレタン・スペシャルティ製品の統合生産設備の建設を発表しており、現在その建設が進行中です。生産開始は 2007 年の予定となっています。

BASF について

BASF (ビーエーエスエフ)は、世界の化学業界のリーディング・カンパニーです。同社の目標は、収益性の拡大と企業価値のさらなる向上にあり、高度なシステム・ソリューションと高品質な製品の提供を通じて顧客の更なる成功をサポートしています。BASF の製品群は、化学品、プラスチック、高機能製品、農薬、ファインケミカルから原油や天然ガスに至るまで多岐にわたり、さらに数々の新技術が、新たな市場への参入を可能にしています。BASF は「持続可能な発展」の基本方針に則って企業活動を行っています。2003 年度は約 330 億ユーロ(約 420 億ドル)の売上高を計上し、従業員数は世界で 8 万 7,000 人です。BASF の株式はフランクフルト(BAS)、ロンドン(BFA)、ニューヨーク(BF)、パリ(BA)、チューリッヒ(BAS)の各株式市場において取引されています。同社のインターネットホームページアドレスは www.basf.com です。BASF ジャパン(株)のインターネットホームページのアドレスは www.basf-japan.co.jp です。

この件に関するお問合せ先

BASF ジャパン(株) コーポレート・コミュニケーションズ 山田
TEL 03-3238-2341